

人口減少に打ち勝ち、笑顔で暮らせる島根をつくる



令和6年9月27日(金)

島根県 浜田県土整備事務所 農村・防災課

担当者名 堀田 陽仁、石川 港

TEL 0855-29-5597、0855-29-5599

Email horita-yoji@pref.shimane.lg.jp

ishikawa-minato@pref.shimane.lg.jp

誰
もが、誰
かの、
た
か
ら
の
もの。

県営ほ場整備事業 杵束地区 起工式の開催

～次世代へ地域を引き継ぐためのほ場整備～

杵束地区は、浜田市の中央に位置する弥栄町木都賀の農地 25.9ha の区画整理を行うものです。本地区は傾斜地が多く存在し、農地は区画や道路が狭小で大型機械の導入が困難であり、施設も老朽化するなど、営農に多大な労力を費やしている状況です。

そのため、ほ場の大区画化や道水路の整備、農地の集約による営農の効率化を図るため、令和5年4月に、ほ場整備事業に着手しました。

これまでは、区画や道水路の調査・設計等を行ってきましたが、この度、工事の着手に至ったことから下記のとおり、安全祈願祭・起工式を行うこととなりました。

1 安全祈願祭・起工式

(1) 日 時：令和6年10月2日(水) 10:00～

(2) 場 所：杵束まちづくりセンター（浜田市弥栄町木都賀イ526-4）

(3) 主 催：杵束地区圃場整備事業推進協議会ほか

(4) 出席者：県議会議員、浜田市副市長、市議会議員、地元事業関係者、島根県、浜田市、
受注業者など

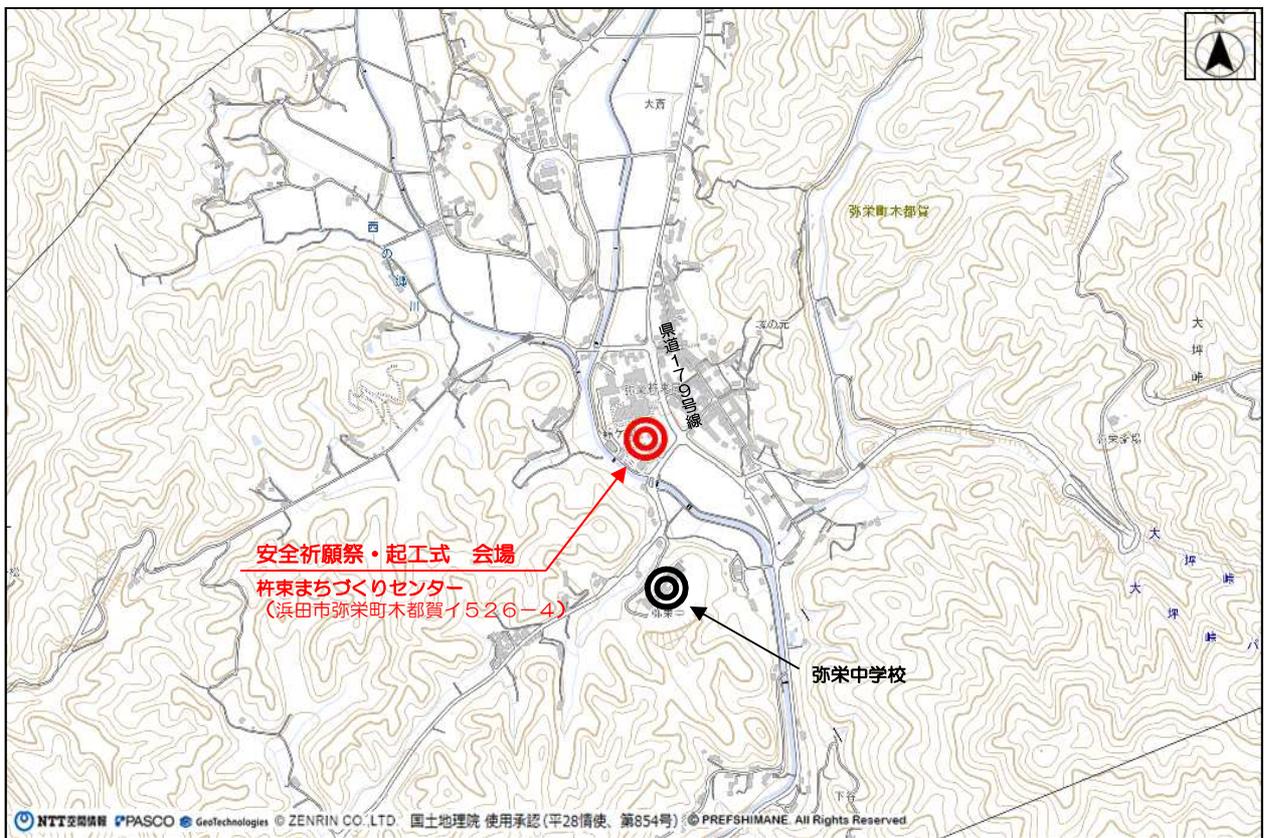
2 事業による効果

- ほ場の大区画化と併せ、農地を集積し、大型機械を導入することで生産コストの低減を図ります。
- 自動給水栓の導入により、適切な水利用や水管理の省力化を図ります。
- ほ場整備を契機に地区内の農地を全て担い手に集積することで、大規模経営が可能となるとともに有機農業エリアを拡大し、自然の豊かさを守るとともに、収益性の向上を図り、農業や農ある暮らしを次世代の子供たちへ引き継ぎます。

3 事業の概要

- (1) 事業名：農地中間管理機構関連農地整備事業
- (2) 事業内容：区画整理 A=25.9ha、用排水路工 L=7.3km、道路工 L=0.5km
暗渠排水工 A=20.4ha
- (3) 総事業費：6億6千2百万円（本工事費）
- (4) 工期：令和5年度～令和10年度（予定）
- (5) 事業主体：島根県（浜田県土整備事務所）

4 位置図



島根創生計画	I 活力ある産業をつくる
	1 魅力ある農林水産業づくり (1) 農業の振興(P.17)

【県 HP】

(島根創生を進めるための新規・拡充施策(令和6年度版))

<https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/shimanesousei/jigyo.data/shinkikakujuR6.pdf>

(島根創生計画)

https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/shimanesousei/index.data/souseikeikaku_illustrated.pdf

